

# デیلیー・ジーザス・ニュース #261

受難週の火曜日…試練と教えの日

イエスがパリサイ人と律法学者に与えた最初の四つの災い（七つの災いのうち）  
マタイ 23: 13-24

13偽善者たちよ、律法学者、パリサイ人たちよ。あなたたちは災いである。あなたたちは人々の前で天の御国の門を閉ざし続けている。あなたたち自身は入ろうとしないし、入ろうとする者も入れない。

[注：マタイ伝23章14節の内容は、マタイによる福音書の最も信頼できる初期の写本には見当たりません。そのため、本書には収録しておりません。]

15偽善者たち、律法学者、パリサイ人たちよ。あなたたちは災いだ。たった一人の改宗者を得るために、陸や海を渡り歩き、改宗者を得ると、彼らを自分たちよりも二倍も地獄の子にするのだ。

16盲目の導き手たちよ、あなたたちは災いだ。あなたたちは言う。『神殿をさして誓っても、何の意味もない。しかし、神殿の黄金をさして誓う者は、その誓いに拘束される。』 17 盲目の愚か者たちよ、どちらが偉大か。黄金と、黄金を神聖なものとする神殿と。

18 「あなたたちはまた、『祭壇をさして誓っても、それは何の意味もない。しかし、祭壇の上の供え物をさして誓う者は、その誓いを守る義務がある』とも言う。

19愚かな盲人たちよ。供え物と、供え物を聖別する祭壇と、どちらが大切なのでしょう。 20 ですから、祭壇をさして誓う者は、祭壇と、その上にあるすべてのものをもって誓っているのです。 21 神殿をさして誓う者は、神殿と、その中に住んでおられる方をもって誓っているのです。 22 天をさして誓う者は、神の御座と、そこに座しておられる方をもって誓っているのです。

23偽善者たちよ、律法学者、パリサイ人たちよ、あなたたちは災いを受けます。あなたたちは、はっか、いのんど、クミンといった香料の十分の一をいつも献げています。しかし、律法の中でもっと大切なもの、すなわち正義と慈悲と誠実をなおざりにしています。あなたたちは、後者を実践すべきであり、前者をなおざりにすべきではありません。 24 盲目の案内人たちよ、あなたたちはブヨは漉し取って、ラクダを飲み込んでいます。

=====

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ = <sup>MT</sup>、マーク = <sup>M</sup>、ルカ = <sup>L</sup>、ヨハネ = <sup>J</sup>、使徒行伝 = <sup>A</sup>。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書を識別します。さらに、**赤いイタリック体はイエスの言葉を示します**。旧約聖書の引用は大文字で書かれています。

コンテキストダイジェスト	
位置	エルサレムの神殿の庭
タイムライン	4月上旬 ( 39ヶ月目 )
イエスの生涯の文脈	第8段階：受難週
	C. 火曜日：テストと指導の日
タイトル	パリサイ人と律法学者に対するイエスの最初の4つの「災い」

## デイリー・ジーザス・ニュース #261

コメント：

およそ6ヶ月前、ユダヤ地方のどこかにあるパリサイ人の家での私的な晚餐の席で、イエスはパリサイ人と律法学者たちに対して六つの災いを語られました ( DJN #184; ルカ11:42-54 )。そして今、受難週の3日目、火曜日の正午頃、イエスは手袋を脱ぎ捨て、宣教活動の中で最も激しい、激しい言葉で、この二つのグループを公然と叱責されました。この場面を目撃した人は誰も忘れることはなく、マタイの記録を通して歴史に生き続けています。私たちもこの言葉を決して忘れないようにしましょう。

この叱責の内容は、以前のものと似ていました。今回はイエスが以前に警告したことをすべて取り上げ、さらに重大な罪と態度を付け加えました。彼らは最初の警告を心に留めていませんでした。

イエスは、偽善に固執する人々を「**盲目の案内人、愚か者、蛇、毒蛇の子ら**」、そして「**人殺し**」と呼びました。弟子たちには他人を「**愚か者**」と呼ばないように警告していましたが ( マタイ5:22 )、自らそうしました。イエスがこのように言ったとき、偽善者だったのでしょうか。単に悪口を言っていただけだったのでしょうか。いいえ、断固として違います！

これは主の正当な怒りの一例です。主はこれまで何度も、パリサイ人や律法学者たちに愛をもって真理を示されました。前述の「災い」もその一つです。彼らの目の前で数々の奇跡を行い、墓に四日間埋葬されていたラザロを蘇らせました。パリサイ人たち自身もこの奇跡を真のしるしと認識していました。「この人は多くの奇跡を行っている。このまま放っておけば、すべての人が彼を信じるようになるだろう...」 ( ヨハネ11:47-48 )。イエスは彼らに真実と向き合い、悔い改める機会を惜しみなく与えましたが、彼らは頑なに拒否しました。

イエスは、彼らが神を愛し、神に従うという見せかけの下でこれらすべてを行なったことに怒りを覚えしました。彼らの偽善こそが、彼らを永遠の裁きへと、つまりイエスが警告していた「災い」へと導いたのです。

すべては、イエスがその朝彼らに対して語った最初のたとえ話に遡ります。神は彼らに悔い改めて御子を信じるように命じました。彼らはイエスに従っていると言いながら、それを拒み続け、あらゆる影響力を使って他の人々にも同じように従うよう勧めました。

すべての罪は不信仰の表れです。偽善は不信仰の最悪の表れです。なぜなら、従順を装いながらも、頑固に反抗し続けるからです。偽善の有害な否定と自己欺瞞に対する唯一の解毒剤は、純粋で聖なる真実です。これらの「災い」は、罪に蝕まれた魂に、愛を込めて真実を注入し、消毒する行為でした。

応用：

イエスは、ただ怒りや苛立ちといった鬱積した感情を解き放つために語られたものではありません。むしろ、愛する敵たちを悪魔—あらゆる嘘の父であり、彼らの魂の真の敵—と共に地獄の穴へと引きずり込もうとしていた嘘と自己欺瞞を打ち破ろうとする最後の試みとして、真実を語られたのです。イエスが語った悲嘆の言葉の一つ一つは、敵にとって最善の利益となるものでした。それは愛でした。彼らの状況は絶望的でした。力強く、明確な言葉が必要だったのです。

## デイリー・ジーザス・ニュース #261

私たちも他の人と同じように偽善に陥りやすいものです。それは私たち皆が共有する罪深い性質の一部です。私たちが犯す最悪の過ちは、パリサイ人の偽善を指差して、自分は彼らのように罪深くないことを喜ぶことです。そう決めつけることで、私たちはパリサイ人と同じ偽善に陥ってしまうのです。

実のところ、私たちは皆、自らの偽善的な性質に対して常に警戒を怠ってはなりません。これがこの文章の要点です。

これらの「災い」のうち、どれをあなたが犯したことがありますか？

あなたの弱点は何ですか？

あなたはどのようにしてイエス様を頼りに彼らから救ってもらえるのでしょうか？